

兵庫県加西市方言の比喩語について

辻 裕子
神部 宏泰

はじめに

1. 調査対象地：加西市は、兵庫県の南部、播磨平野のはほぼ中央に位置する小都市である。人口は52,183人、世帯数は13,447戸。(平成3年3月31日現在)

県下でも有数の食料生産地であり、約3,640haの農地では稲作をはじめ、野菜、花卉、果樹等の園芸作物、酪農、養鶏など多種多様な農業が営まれている。約5,600戸の農家のうち、専業農家はわずかに5%である。残りは播磨、阪神工業地帯に近いことから、他産業への仕事に就く機会に恵まれ、第二種兼業農家が95%を占めている。また、平成4年3月、中国道加西インターチェンジが開通し、これからの地域の発展が期待されている。

2. 調査年月日時：1992年12月23日午前9時～11時

3. 話者：福富つゆこ 大正13年7月21日生(68歳)〈中富町〉

辻 みよえ 大正12年8月12日生(69歳)〈中富町〉

辻 君恵 大正1年11月21日(80歳)〈中富町〉

その他、高原文子(58歳)〈西剣坂町〉、西村幸子(68歳)〈別府町〉、藤原しげこ(72歳)〈野上町〉の三人の女性にも、調査表に基づいて確認・補充調査を行った。

4. 調査者・調査場所：辻 裕子・辻 君恵(調査者祖母宅)

5. 調査方法・調査時の様子：調査表に基づいて尋ねる方法をとった。和やかな雰囲気の中で行われ、連想される他の比喩語にも及んで、会話はスムーズに進行した。

(○)注 共通語と同じもので、必ずしも比喩とは認めにくいもの、あるいは、方言であるが、比喩とは認めにくいもの。以下同じ。

(S)注 話者の説明。以下同じ。

(*)注 調査項目以外の比喩語。以下同じ。

I 《自然現象》

1. 日照り雨 キツネノヨメイリ(狐の嫁入り)〈名〉各年層 類 古 中 虹の上を狐が嫁入りして行く。(S)

2. 入道雲 オニグモ(鬼雲)〈名〉老年層 類 中 もくもくと盛り上がった形から。

3. 旋風 ドーマイカゼ(胴巻き風)〈名〉中・老年層 類 古 中 胴にくるくると巻きつくように吹く風。(S) ツムジカゼ〈名〉各年層 類 中 頭のつむじが渦をまいてるように風が舞うから。

4. 霜柱 シモバシラ〈名〉各年層 類 中

5. つらら ツララ〈名〉

- 6 北斗七星 ・ホクトヒチセー 〈名〉
 7 昴 ・スバル 〈名〉
 8 流れ星 ・ナガレボシ 〈名〉

II 《動物》

- 9 かわはぎ ・メンボヘ 〈名〉中・老類 鼻古 目疔。(S)
 10 ひらめ ・ヒラメ 〈名〉
 11 ひきがえる フクガエル 〈名〉中・老類 鼻古 ①腹が大きい特徴に目をつけた。(S)
 ②家の中に福をもたらす。(S)
 12 青大将 クツナ(朽ち縄) 〈名〉老類 鼻古 エーノヌシ(家の主) / ヤグチナ
 (家口主) 〈名〉中・群類 鼻古 大きい蛇は家の守り主である。(S) ・ウワバリ 〈名〉
 13 とかげ クツナノオバハン 〈名〉老類 鼻古 とかげに足があるところから蛇
 の親戚である。(S)
 14 かまきり モットイムシ(元結い虫) 〈名〉老類 鼻古 かまきりの腹や尻から元
 結いの紐のような黒い寄生虫が出てくる。(S)
 15 みずすまし ゴマイムシ 〈名〉老類 鼻古 中 ①黒い胡麻に似ている (S) ②くるく
 ると回る独楽に似ている。(S) マイマイムシ / マイマイコンコン 〈名〉中・群
 類 鼻古 くるくると回る様子から。
 16 きつつき ・キツツキ 〈名〉
 17 せきれい ・セキレー 〈名〉
 18 ふくろう ホロフクホーホー 〈名〉老類 鼻古 ふくろうの鳴き声から。
 * 殿様ばった コメツキ(米つき) 〈名〉老類 鼻古 中 ばったの両足を持つと、頭を
 こっくりこっくりと下げて米を付いている様子に似ている。(S) ハタハタ
 〈名〉老類 鼻古 ばったの羽の音。(S)

III 《植物》

- 19 馬鈴薯 ニドイモ(二度芋) 〈名〉中・老類 鼻古 一年に二度収穫できる。(S)
 20 とうもろこし ナンバ(南蛮) 〈名〉中・老類 鼻古 南蛮から伝わってきた。(S)
 21 いんげん豆 ニドマメ(二度豆) / サンドマメ(三度豆) 〈名〉中・老類 鼻古 二度
 三度と何度も収穫できる。(S)
 22 そら豆 オタフク(お多福) 〈名〉中・老類 鼻古 空豆の大粒のものを言い、お
 多福の下膨れの顔に似ている。(S)
 23 木くらげ ・キクラゲ 〈名〉
 24 げんのしょうこ イシャコロシ(医者殺し) 〈名〉老類 鼻古 医者よりよく効くため医
 者が流行らなくなるから。
 25 どくだみ ジューヤク(十薬) 〈名〉中・老類 鼻古 薬効が高いから。
 26 いたどり ダイジ 〈名〉中・老類 鼻古 ウシダイジ(牛ダイジ) 〈名〉老類 鼻古

品質が悪く、牛が食べるような細くてまずいもの。(S)

- 27 からすうり ・カラスウリ <名>
- 28 すみれ スモントリバナ (相撲取り花) <名> 中・老 葉 古 すみれの茎と茎を絡ませて、引っ張り合う遊びを相撲に見立てた。(S)
- 29 春蘭 ジジババ (爺婆) <名> 中・老 葉 古 下 春蘭の花は、お爺さんとお婆さんがくっついている形に似ている。(S)
- 30 母子草 ホーコ <名> 老 葉 葉 古 母子草の転。
- 31 ねむの木 ネンネノキ <名> 老 葉 葉 触ったら葉を閉じてしまう。(S)
- * アロエ イシャイラス (医者要らず) <名> 老 葉 古 医者にかかる必要がないくらい良く効くから。(S)
- * 彼岸花 カジバナ (火事花) <名> 老 葉 古 真っ赤な色から、家の中に持って入ると火事になる。(S) テクサリバナ (手腐り花) <名> 老 葉 古 茎に臭気があり、これが手に付くと腐る。(S)
- * ねぎ ネブカ (根深) <名> 老 葉 白い根の部分が長い。(S)
- * たらの木 ヨメタタキ (嫁叩き) <名> 中・老 葉 葉、茎にとげがあり憎らしい嫁をそれで叩く。(S)
- * えのころ草 ネコジャラシ (猫じゃらし) <名> 老 葉

IV 《性向》

- 32 熱しやすく冷めやすい人 ミッカポーズ (三日坊主) <名> 老 葉 葉
- 33 あわてん坊 アワテガミ <名> 老 葉 葉 古
- 34 動作の鈍い人 グズノマドロシーヒト
- 35 嘘つき センイチ (千一) <名> 老 葉 葉 古 千に一つしか本当の事を言わない。
- 36 ほらふき オーブロシキ (大風呂敷) <名> 老 葉 葉 古
- 37 おしゃべり ホーソーキョク (放送局) <名> 老 葉 葉 葉 放送局のように情報をよく流す。(S) モズ (百舌) <名> 老 葉 葉 古 鋭い声でうるさくしゃべるから。(S)
- 38 冗談言い チョケ
- 39 口先だけの人 ウドンヤノカマ (うどん屋の釜) <名> 中・老 葉 古 湯だけに言うだけ
を掛けている。(S) ネコナデ (猫撫で) <名> 老 葉 猫撫で声を出して、人に合
わす。(S)
- 40 とんちんかんなことを言う人 チグハグナヒト / エーカイナコトユーヒト
- 41 のらりくらり煮えきらない人 カマノキレヘンヒト (鎌の切れない人) <名> 老 葉
- * 思い切りのいい人 カマノキレルヒト (鎌の切れる人) <名> 老 葉
- 42 怒りっぽい人 カンテキ (七輪) <名> 老 葉 葉
- 43 気むらな人 オテンキヤ (お天気屋) <名> 老 葉 葉 中 ころころと天気が変わる様

子に似ている。アズキ〈名〉中・老編 テノヒラカエスヒト（掌返す人）〈名〉

44 泣き虫 ・ナキムシ〈名〉

45 おてんば娘 ハッチョバコ（八丁箱）〈名〉老編 兼 よく動いて達者なことを八丁
と言う。(S) ジャジャウマ（じゃじゃ馬）〈名〉各編 兼 手に負えない暴れ馬
に似ているから。

46 腕白坊主 ・ガンゼナイ（頑是ない）〈形〉

47 出しゃばり ・デシャバリ〈名〉

48 どこへでも顔を出す人 トビスケ（飛び助）〈名〉老編 デボスケ〈名〉老編 兼

49 家にもって外出しない人 シリガヤケル（尻が焼ける）〈句〉老編

50 小心者 ・オジントレ／オビントレ／オトチ

51 内弁慶 ソトスボリ（外すぼり）〈名〉中・老編 兼 内で元気がよくても、外に
出るとしぼんで小さくなっているから。

52 人づきあいをしない人、社交性のない人 ・ツキガワルイ（付き合いが悪い）

53 妻に対して頭の上がらない男 ・カカテン（嬖天下）〈名〉各編 兼

54 けち ・シブチン／シミッターレ

55 欲張り ・ヨクブカ（欲深）〈名〉

* 出世しない人 ヒヤメシグライ（冷や飯食らい）〈名〉中・老編 兼 古

* 金持ち シンショヨシ（身上よし）〈名〉老編 兼

* 金遣いの荒い人 ザル（筧）／ミソコシ（味噌濾し）〈名〉中編 兼 ざるの目から
水や味噌がこぼれるようにお金を使うから。(S)

* 馬鹿者 ビンズメ（瓶づめ）／ハチブ（八分）〈名〉瓶には普通八分目しか
入れないので、いっぱい入っていないという意。(S)

* 怠け者 アブラトリ（油取り）〈名〉老編 ナマリハンチャク／ナガレハン
チャク（鉛半着）〈名〉一業に徹しない者。

* 浮気をする人 ハレモノ（腫れ物）〈名〉老編 兼

V 《食生活》

56 大食漢 ・オーグイ（大食い）〈名〉

57 ぼたもち ボタモチ（牡丹餅）／オハギ（お萩）〈名〉各編 兼 前者は春、後者
は秋の言い方。(S)

58 砂糖味が薄い サトーガタカイ（砂糖が高い）〈句〉老編 兼 古 砂糖が高価なので節
約をしたというところから。サトーヤガトーイ（砂糖屋が遠い）〈句〉老編 兼
古 砂糖屋が遠いので買いに行かなかったというところから。サトーヤノカド
ハシッテール（砂糖屋の門口を走って通る）〈句〉老編 兼 古

59 塩味が薄い シオガタカイ（塩が高い）〈句〉老編 兼 古 塩が高価なので節約した
というところから。ハマガタラン（浜が足りない）〈句〉老編 兼 古 浜干しが足

- りないということか。ミズクサイ（水臭い）〈名〉老編 昔古
- * 塩味がきいている ハマガカトル（浜が勝っている）〈句〉老編 昔古
- 60 大酒のみ ウワバミ／オロチ 〈名〉老編 古
- 61 酒に酔ってくだをまく トランナル（虎になる）〈句〉老編 昔 酒のみを入れる牢屋をトラバコと言う。(S)
- 62 酒に酔って顔が赤くなる トノサマ（殿様）〈名〉老編 昔
- VI 《動作・様態》
- 63 恥ずかしくて顔が赤くなる・そのさま セキメンヘキ（赤面癖）〈名〉
- 64 どしゃ降りの雨 シャジートル（車軸取る）〈句〉老編 古 車軸を流すような強い雨。(S)
- 65 ずぶ濡れ、びしょ濡れになる、そのさま ヌレネズミ（濡れ鼠）〈名〉老編 昔
- 66 服装がだらしないさま ブショータレ（無精たれ）〈名〉
- 67 髪がのび放題のさま ヤマアラシ（山荒し）〈名〉老編 昔 新山荒しの逆立った毛に注目した言い方。シャグマ／シャガマ（赤熊）〈名〉中・老編 昔 シャグマの毛に注目した言い方。
- 68 厚化粧をしている人 カベオヌル（壁を塗る）〈句〉中・老編 壁を塗るように化粧をすところから。シラカベ（白壁）〈名〉老編 昔 白壁のように化粧が白いから。ヤクシャ（役者）〈名〉老編 古 舞台に上がる役者のように、厚く白く化粧をするから。
- 69 背丈の高い人 クモノスハライ（蜘蛛の巣払い）〈名〉老編 昔 古 天井の蜘蛛の巣を取り払うくらい背が高いから。
- * 背丈の低い人 ロクインチ（6インチ）〈名〉老編 古 自転車の車輪の標準は8インチだが低い人用は6インチだった。(S)
- * 細い人 ガリガリモージャ（ガリガリ亡者）〈名〉 骸骨のように細い。(S)
ワタクリ（綿繰り）〈名〉老編 綿を打ち直す機械に入れても落ちてしまうほど細い。(S)
- 70 出ひたい テボチン
- 71 汗がひたいから流れ落ちる アセガタキノヨニナル（汗が滝のようになる）
〈句〉老編 昔
- 72 目を丸くする ハトガマメデッポークッタヨナメ（鳩が豆鉄砲食ったような目）
〈句〉老編 昔
- 73 口をとがらす フグ（河豚）〈名〉中・老編 口を尖らせて頬を膨らます様子が河豚に似ているから。
- 74 焦げ臭いにおい キナクサイ
- 75 遠廻り ユミ（弓）〈名〉老編 古 弓の弦をたどれば直線で近いが、反対に弓

側を通るという意。(S)

* 近廻り ツル(弦)〈名〉 箏 古弓の弦をたどれば直線で近道である。(S)

76 末っ子 オトンボ／オトゴ(乙子)〈名〉

77 一生懸命頑張る キバル

* 嫁を貰うこと テマモラウ(手間貰う)〈名〉 箏 働き手を貰う。(S)

* たくさんの子供 シシノコ(獅子の子)〈名〉 箏 獅子は、生む子供の数が多いという。(S)

* 烏打ち帽子 チョケジャッポ〈名〉 箏

まとめ

以上が、加西市方言にみられる比喩語の実態である。人に関する比喩語をみると、性向関係27語、食生活関係4語、動作・様態関係14語、計45語が見られる。これは、全体の46.9%に当る。人びとの、周囲の人の行動や生活に対する関心の深さがうかがわれる。例えば、煮えきらない人のことを「鎌ノ切レヘン人」と言い、思いきりのいい人のことを「鎌ノ切レル人」と言う。切れの悪い鈍さに苛立ちを覚える心理、思いきりのいい人に対する小気味の良さを感じる心理が、身近な鎌に喩えてよく表されている。厚化粧の人は「役者」とか「白壁」とか言っている。舞台役者のけばけばしい厚化粧や、真っ白い壁に喩えて、揶揄する気持ちがよく表れていよう。金遣いの荒い人を「笹」とか「味噌コシ」とかに喩えているのもおもしろい発想である。頭の悪い人のことを「瓶詰メ」とか「八分」とか言っている。瓶は普通八分目しか中身を入れない。いっぱい詰まっていないところからの発想である。「バカ」と言われるよりは、愛嬌がある。嘘つきは「千一」である。千の一つしか本当のことを言わないからである。また、嘘ばかりのことを「嘘八百」と言うが、「千一」は、それ以上の大嘘つきということになる。誇張の心理がよく表れている。数詞によるものは、「六インチ」「十稔」のように、基準数を意識しているもの、「千一」のように、大きな数の差を対比したものが見られ、数を素材にした、人びとの皮肉なことばづくりがおもしろい。

人に関する比喩語は形態・様態よりも特性に注目した比喩語が多い。また、その比喩語の多くがマイナス評価である。上の例がそれである。加えて、「ウドンヤノ釜」(口先だけの人)、「外スポリ」(内弁慶)、「腫レ物」(浮気をする人)などもマイナス評価のものと言えよう。

素朴で健康な比喩語の世界に、私どもは人びとの真情と、生活のことばの自在な生命力とを、興味深く見てとることができるように思う。

<付記>本稿は、辻が調査および元記述を担当し、神部がこれに若干の修訂を加えて成ったものである。

(つじ ゆうこ 兵庫教育大学大学院生・かんべ ひろやす 兵庫教育大学)